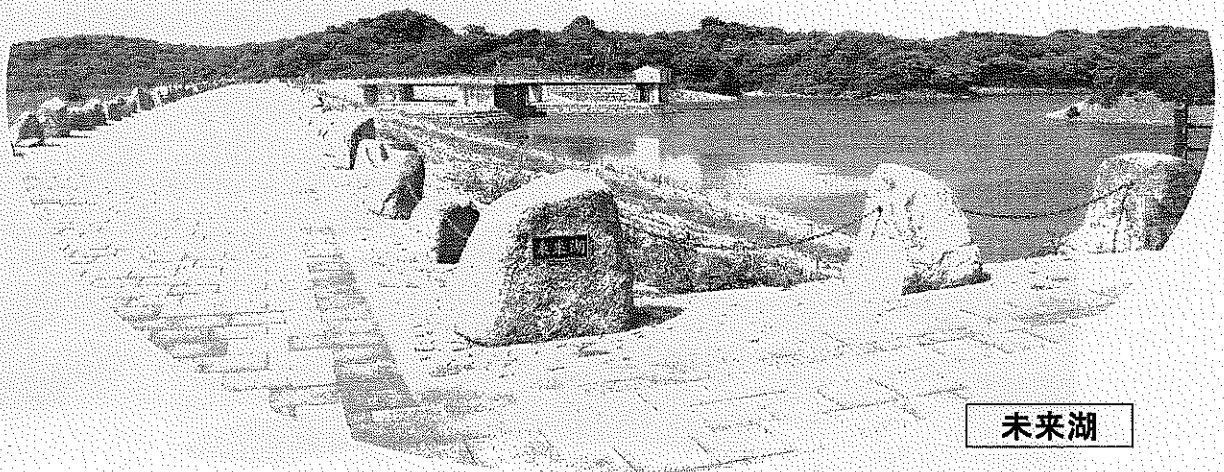


# 川上校区 地域計画 「元気・安心・地域づくり」



未来湖

平成 29 年 2 月

川上校区 自治会連合会・コミュニティ推進協議会

◆ 川上校区の現状と課題 ◆

1 地域の現状	
(1) 地域の概要	1
(2) 地域の高齢化等の現状	2
2 地域計画策定の経緯	
(1) 地域計画の策定にあたって	2
(2) 具体的な地域計画検討の進め方	3

◆ 川上校区地域計画 ◆

1 川上校区地域計画体系図	5
2 川上校区地域計画 ～川上校区の明日のために～	6



北迫遺跡

## 川上校区の現状と課題

### 1 地域の現状

#### (1) 地域の概要

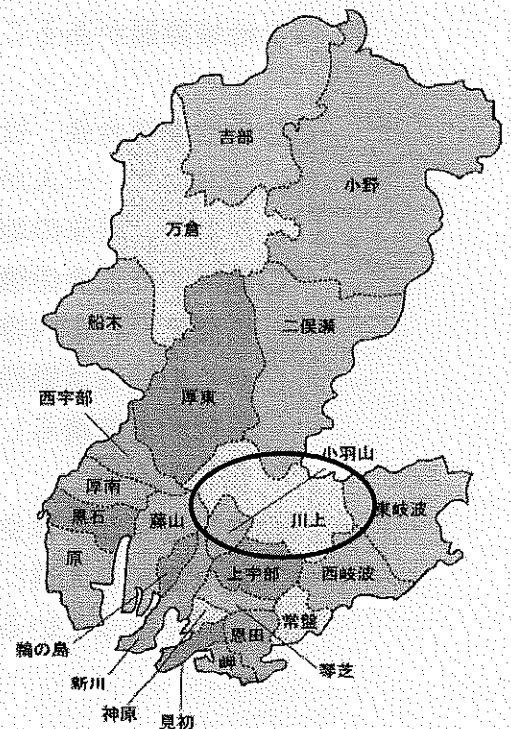
川上校区は、平成元年に上宇部校区と西岐波校区の一部が分離独立し誕生しました。宇部市の中央部に位置し、東は東岐波・西岐波校区に、西は厚東・藤山校区に、南は小羽山・上宇部・常盤校区に、北は二俣瀬校区と山口市阿知須地域に隣接しています。地域の形は蝶のような形をしており、面積は約 15.62 km<sup>2</sup>、人口は8,118人（平成28年4月1日現在）です。

江戸時代、山口県が周防、長門の二国に分かれていた頃には、南側、北迫（旧川上村）など、ひらき台（旧宇部村）などは長門の国、請川、片倉（旧岐波村）などは周防の国に属していたので、当時の国境が校区内を通っています。

地理的には、西側に真締川の上流域があり、東西の丘陵地を縫うように沢波川や県・市道が通り、自然環境にも恵まれていることから、「北迫新町」「ひらき台（パークタウン）」をはじめ、平成10年に新たに自治会が誕生した宇部新都市「あすとぴあ」などの分譲団地が点在しています。

近年、急速に交通網の整備や住宅地の開発が進んでおり、特に山陽自動車道宇部インターチェンジの設置は、本市の玄関口の一つとして大きな役割を果たしています。

また、地域産業の高度化を促進するために特定事業立地の受け皿となる中核的産業用地として整備された「宇部臨空頭脳パーク（下片倉）」、県内産業の振興を「ものづくり」の面から支援する試験・研究機関として設置された「山口県産業技術センター（あすとぴあ）」（平成11年4月）、市街地の浸水被害を防ぐ洪水調整と渇水時の農業用水及び河川環境を守る河川水の補給のために建設された「真締川ダム（高嶺）」などの重要な施設があります。



## (2) 地域の高齢化等の現状

各年4月1日現在

年 度	世帯数 (世帯)	人 口 (人)	年 少 14歳以下 (人)	生産年齢 15~64歳 (人)	高齢者 65歳以上 (人)	高齢化率 (%)
平成13年	2,272	6,711	1,225	4,570	916	13.64
平成18年	2,726	7,662	1,422	5,078	1,162	15.17
平成23年	3,035	8,143	1,489	5,195	1,459	17.92
平成28年	3,217	8,118	1,274	4,897	1,947	23.98

(宇部市年齢別住民基本台帳人口・校区别住民基本台帳人口より抜粋)

この表のように、川上校区の平成28年の高齢化率23.98%は、本市の30.77%と比較すれば低く、若年者の多い校区であるように思えますが、本校区においても高齢化は確実に進んでおり、高齢化率は15年間に10ポイント上昇しています。

また、新興団地である「あすとぴあ」(平成28年4月1日現在の人口2,085人)や「ハーモニーヒルズ」(平成28年4月1日現在の人口793人)などの地域を除けば33.6%であり、決して若年層の多い地域とは言えない状況です。

## 2 地域計画策定の経緯

### (1) 地域計画の策定にあたって

川上校区の自治会連合会、社会福祉協議会、コミュニティ推進協議会の主要メンバーによる「元気・安心・地域づくり」に関する協議においても、次のような地域課題があることが確認されました。

- 自治会連合会、社会福祉協議会、コミュニティ推進協議会などの地域団体において、一人が何役もこなすなどの人材の重複、後継者などの人材不足があり、将来の地域運営に不安がある。
- 地域や自治会の恒例行事や運営スタッフ・参加者が固定化しており、本来の交流、行事内容の見直しや人材発掘・育成などができていない。
- 多くの地域活動団体の主要メンバーの高齢化が進み、後継者もいないため、具体的で素晴らしい活動内容であるにもかかわらず、活動の継続が危ぶまれる。
- 自治会長が毎年交替する自治会もあり、任期が複数年の自治会では後任の自治会長の人選に苦慮するなど、自治会の活動をスムーズに進めることが難しくなっている。

このようなことが全国の各地域でも危惧されており、現時点で地域にとって、すぐに大きな問題になることはないかもしれませんが、10～20年後を考えた場合、考えられる多くの問題点を洗い出し、その問題の要因を抽出して、その対応策を検討し取り組まなければ地域活動が停滞してしまいます。

そのため、地域の生活全般に関わる将来の具体的な取り組みなどを明記した計画をつくとともに、計画策定後も自主的、継続的な地域運営ができる仕組みづくりについて検討する必要があります。

このたび、地域団体から選出した委員による説明会、意見交換会を実施し、地域の現状や課題を明らかにして、課題の解決策について話し合い、川上校区の地域計画としてまとめることになりました。

## (2) 具体的な地域計画検討の進め方

### (1) 「元気・安心・地域づくり」説明会

期日：平成28年10月17日(月) 18:30～20:00

講師：フロンティア大学 伊藤一統教授の講演

演題：「元気・安心・地域づくり」

～わたしたちの地域をつくる意義と方法～



### (2) 「元気・安心・地域づくり」意見交換会(1回目)

期日：平成28年11月8日(火) 18:30～20:00

内容：6グループに分かれ、地域課題や地域の魅力などについて意見交換を行い、全体会で発表後、伊藤教授から助言を受けた。

### (3) 「元気・安心・地域づくり」意見交換会(2回目)

期日：平成28年11月30日(水) 18:30～20:00

内容：前回の意見から絞った地域課題のテーマ別の5グループに分かれて解決策などの意見交換を行い、全体会で発表後、伊藤教授から助言を受けた。

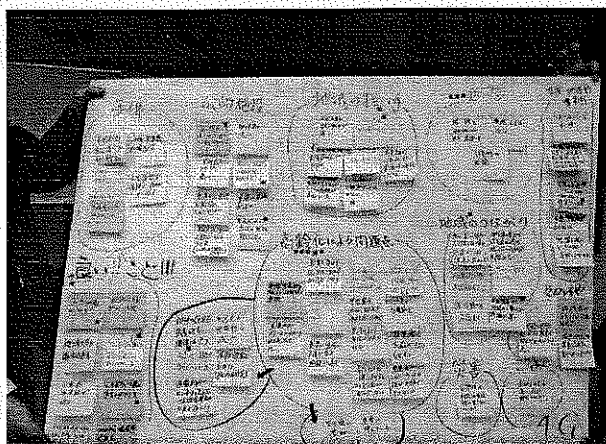
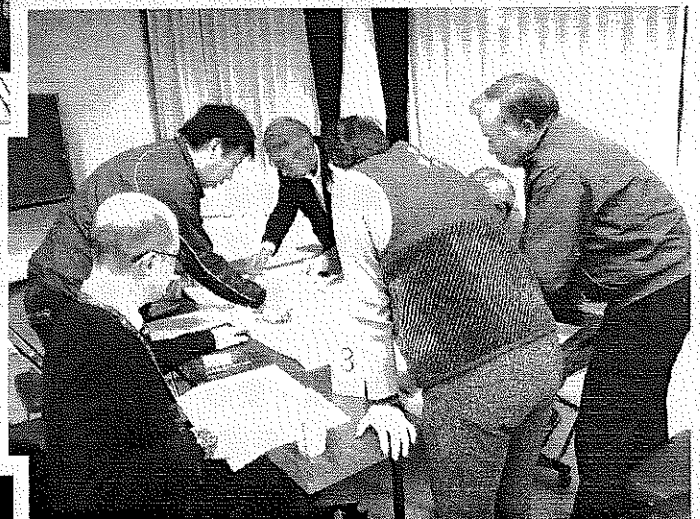
### (4) 「元気・安心・地域づくり」事業報告会

期日：平成28年12月20日(火) 18:30～19:30

内容：意見交換会の地域課題の解決策などの意見や現在地域で取り組んでいる内容などをまとめた川上校区地域計画(案)を提示、概要を説明して計画策定の承認を受け、伊藤教授から助言を受けた。後日、まとめた地域計画を班回覧などで地域住民に広める。

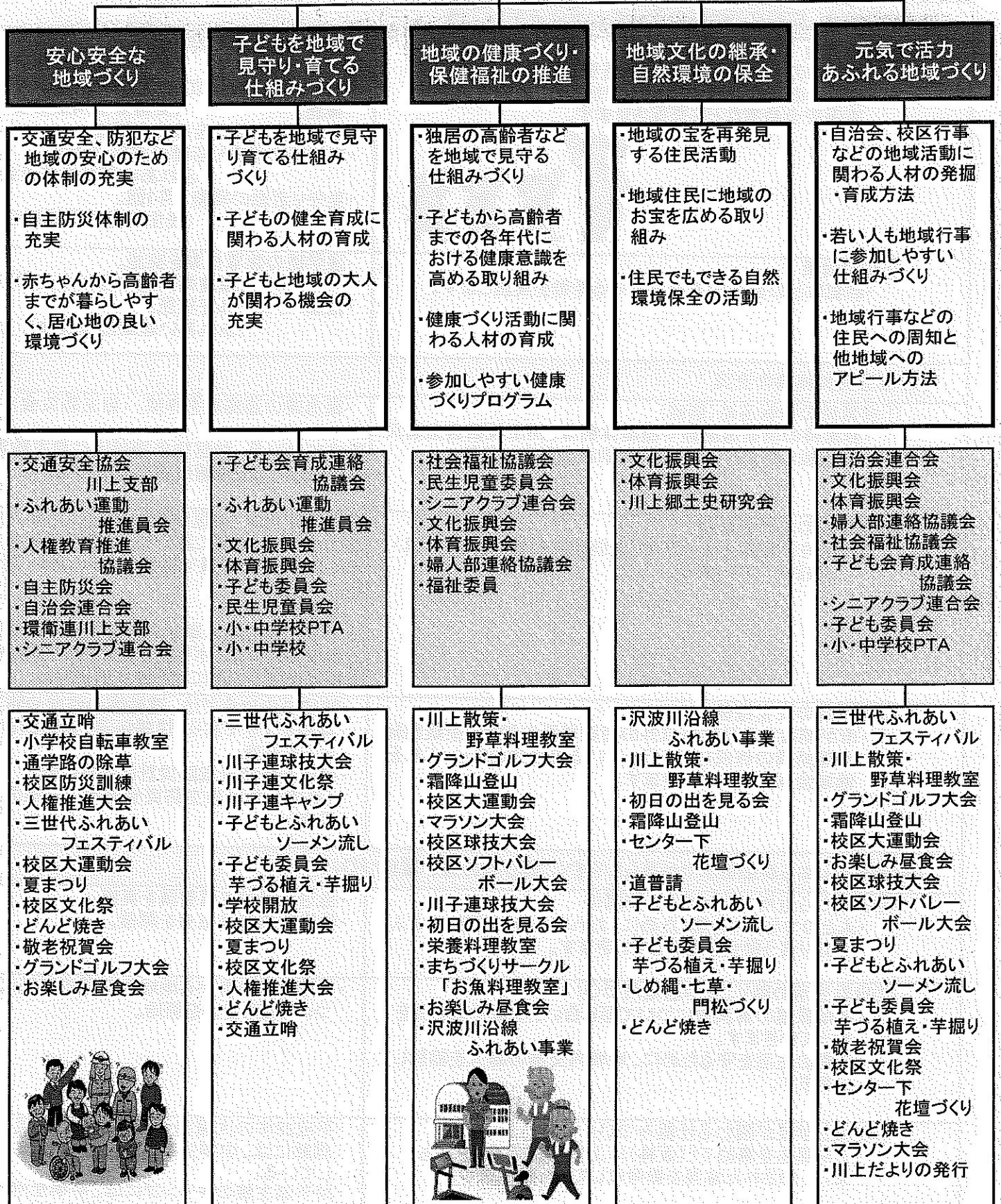
このたび、各地域団体の代表者が参加した「元気・安心・地域づくり」意見交換会などにより、川上校区地域計画をつくりましたが、この取り組みで最も重要なことは、地域計画を作ることだけではありません。地域住民が地域の将来を本気で考え話し合う、地域住民総意のルールづくりまでのプロセスと、決めたことを確実に実践することができる体制づくりなのです。

したがって、住民が地域活動や地域づくりの現状を把握し、それらの問題の解決策を協議・検討し、地域計画の見直しを行うとともに、今後収入の方策や地域運営組織を支えるような組織の設置を考えていく必要もあります。




1 川上校区地域計画体系図

川上校区コミュニティ推進協議会



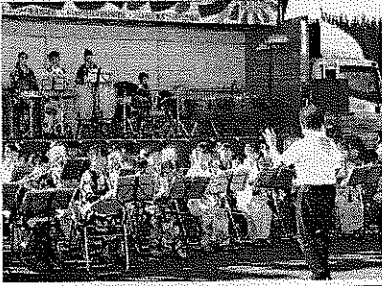
## 2 川上校区地域計画 ～川上校区の明日のために～

### 1 安心安全な地域づくり

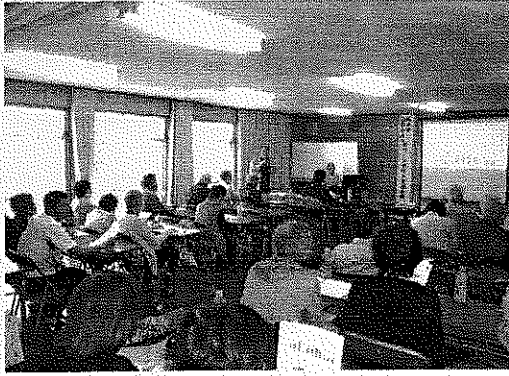
計画項目等	取組事例
<b>(1)交通安全、防犯など地域の安心のための体制の充実</b>	
<p>①交通安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学時の子どもの見守り活動を実施します。</li> <li>・高齢者の死亡事故の増加の現状から、高齢者対象の交通安全教室などを充実させます。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校自転車教室の開催。 (交通安全川上分会)</li> <li>・登下校時の交通立哨・見守り活動の実施。 (交通安全川上分会)</li> <li>・シニア連交通安全教室を開催。</li> <li>・下校時の見守り活動の実施 月1回。 (ふれあい運動推進委員会)</li> <li>・見守り活動の実施 月2回。 (民生児童委員協議会)</li> </ul>
<p>②防犯対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯などの地域の安全を見守る活動を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の除草作業を実施。 (環境衛生連合会川上支部)</li> <li>・街頭パトロールを実施。 (ふれあい運動推進委員会)</li> </ul>
<b>(2)自主防災体制の充実</b>	
<p>①非常時の情報連絡(訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時の情報連絡網や組織体制は、川上校区自主防災会が担当しており、定期的に訓練を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の連絡網を作成。(自主防災会)</li> </ul> <p>平成28年10月 校区防災訓練時に自主防災会連絡網により情報伝達訓練を実施。</p>
<p>②非常時のための訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な被害状況を想定した効果的な訓練方法について、検討していきます。</li> </ul>	<p>平成28年10月 校区防災訓練として、東片倉自治会・河川公園において、災害時の断水状況を想定し、山口県で初めて給水訓練を実施。</p> <p>(概要) 上下水道局の給水車から各自生活用水を受け食事用に使用。ポリ袋でご飯を炊く体験や消防団のポンプ車による放水訓練など。</p>
<p>③非常時の安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が開設する避難所以外の避難場所の設定、避難訓練や連絡網の作成などを行っている自治会があり、これを地域全体に広めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の自治会では、連絡網の作成や防災体制ができており、情報伝達、避難訓練などを実施。</li> <li>・平成28年度地域防災計画案を作成。 (平成29年度自主防災会総会に提案の予定)</li> </ul>
<b>(3)赤ちゃんから高齢者までが暮らしやすく、居心地の良い環境づくり</b>	
<p>①日頃から近所で助け合う人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人とのつながりを築くために、だれでも参加でき、人と人が知り合う機会を増やしていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会単位で道普請を実施。</li> <li>・校区行事の反省会を開催。</li> </ul>
<p>②日常生活の困りごとや居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の解決策について話し合い、学習する機会を作っていきます。</li> <li>・日常の生活を守るために、地域内交通の導入を検討していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年11月から地域内交通の実施について話し合いを開始。</li> </ul>
<p>③地域と学校が関わる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高生を集めて「(仮称)川上をよくする会」を立ち上げ、出された意見を参考にして取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年の大運動会、夏まつり、防災訓練には、中学生ボランティアが参加している。</li> <li>・川子連主催のキャンプには、中学生ボランティア(ジュニアリーダー)が参加している。</li> </ul>

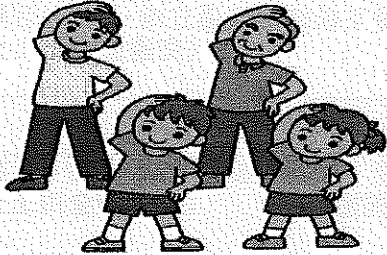


## 2 子どもを地域で見守り、育てる仕組みづくり

計画項目等	取組事例
(1)子どもを地域で見守り育てる仕組みづくり	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生が交流する活動を増やしていきます。</li> <li>・子どもを地域で見守る仕組みについて協議・検討する組織を結成します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校合同であいさつ運動を開始。</li> <li>・育児サークル「ちびっこの輪」の開催。 (母子保健推進員)</li> <li>・登下校時の交通立哨・見守り活動の実施 (交通安全川上分会)</li> </ul>
(2)子どもの健全育成に関わる人材の育成	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人を活用し、人材を充実させていきます。</li> <li>・子どもたちを地域で守り育てる思いを、地域の大人がしっかりと実践していきます。</li> <li>・地域内であいさつ運動、見守り活動を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の交通立哨・見守り活動の実施。 (交通安全川上分会)</li> </ul>
(3)子どもと地域の大人が関わる機会の充実	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三世代交流のイベント等を実施します。</li> <li>・子どもと地域の大人が触れ合う機会を増やしていきます。</li> <li>・地域のできるだけ多くの人が学校行事や運営に関わり、コミュニティ・スクールに対する理解を深めてもらいます。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三世代ふれあいフェスティバルの開催。 (川上小学校が主管、まちづくりサークルが協力)</li> <li>・しめ縄づくり、どんど焼き、七草のつどいの開催。(文化振興会、川子連、婦人部など)</li> <li>・川子連文化祭の開催。</li> <li>・中学生ボランティアの活動。</li> <li>・芋の苗植え、芋堀りなどの行事を開催。 (子ども委員会)</li> <li>・ソーメン流し(ふれあい運動推進員会)</li> <li>・校区夏まつり、文化祭の開催。 (各実行員会)</li> </ul>

## 3 地域の健康づくり・保健福祉の推進

計画項目等	取組事例
(1)独居の高齢者などを地域で見守る仕組みづくり	
<p>①見守りの仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の輪づくり運動に継続して取り組みます。</li> <li>・近隣のコミュニケーションが円滑にいくよう、まず挨拶、声掛けを実践していきます。</li> <li>・自治会館などを利用して、各世代の住民が気軽に参加交流できる場を広げていきます。</li> <li>・単身者向けの食事会を企画・運営します。</li> <li>・子ども会が地域のまつりやイベントに参加します。</li> </ul> <p>上記の取り組みは各自治会単位で実施することが現実的だと思います。</p> 	<p>平成27年度に市社会福祉協議会の小地域福祉活動強化事業「福祉の輪づくり運動」と東部第一高齢者相談センターの「地域支え合い会議」を合わせて、運営する組織体制や内容を検討し、北迫新町自治会を校区のモデル地域として選び実施。 (事業内容) NPO法人山口ヘルスプロモーションネットワーク代表の長谷亮佑氏を迎え、課題発掘のためのアンケート調査を実施。 (成果) 平成28年4月にアンケート結果報告会を開催し、そのグループワークの中で「ボランティアの募集」「新たな取り組みには組織化やコーディネーターが必要」などの意見。 その後、ボランティアの募集や実行委員会が設置され、規約作成後、「見守り隊」「サポート隊」が活動開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お楽しみ昼食会(一人暮らしの高齢者)の開催。(社協、福祉、民協、婦人部)</li> <li>・チョット手を貸す運動を実施(東片倉)</li> <li>・敬老祝賀会を開催。</li> </ul>

(2)子どもから高齢者までの各年代における健康意識を高める取り組み	
<p>①健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操を実施している自治会があり、これを地域に広げていきます。</li> <li>・校区ぐるみで健康づくりに取り組む健康づくりの組織を結成します。</li> <li>・積極的にPRして、健康づくり行事を充実させていきます。</li> </ul> 	<p>平成27年度に健康推進課が主管する「健康づくり推進助成事業」の「歯からはじめる健康づくり」を、市歯科医師会会長の真宅正昭氏を講師に迎え、講話とブラッシング実技指導を実施。</p> <p>平成28年度は歯科医と内科医が連携し、テーマも歯周病と生活習慣病の関係にと拡大発展させ取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・霜降山登山、校区グランドゴルフ・ソフトバレーボール・マラソン大会、大運動会を開催 (体育振興会)</li> <li>・川子連球技大会を開催。(川子連)</li> <li>・初日の出を見る会の開催。(コミ)</li> <li>・ラジオ体操の実施。(川上団地)</li> </ul>
(3)健康づくり活動に関わる人材の育成	
<p>①人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催の養成講座を活用して、人材の発掘・育成を進めていきます。</li> </ul>	
(4)参加しやすい健康づくりのプログラム	
<p>①参加しやすいプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりのイベントをさらに充実させていきます。</li> <li>・料理教室などの健康と食事に関連した講座を継続し、開催していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区グランドゴルフ大会を年に2回実施。(体育振興会、コミ)</li> <li>・4月 川上散策と野草料理教室を開催。(体育振興会)</li> <li>・国保栄養料理教室を年3回開催。</li> <li>・まちづくりサークルで「お魚料理教室」を1回開催。</li> </ul>

#### 4 地域文化の継承・自然環境の保全

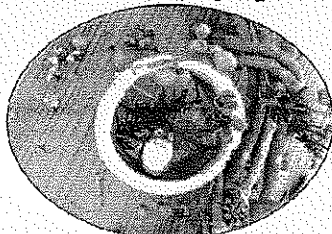
計画項目等	取組事例
(1)地域の宝を再発見する住民活動	
<p>①地域のお宝を再発見する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化財などへのウォーキングやオリエンテーリングの行事を企画・開催していきます。</li> <li>・郷土史の興味関心を深める取り組みをしています。</li> <li>・自然が豊かで、安全で効果的なウォーキングコースがあることをPRしていきます。</li> </ul>	<p>平成28年度に校区のモデル事業として「頑張る地域支援助成金」(市民活動課主管)を活用し、「沢波川沿線ふれあい事業」として東片倉自治会が中心になって事業を実施。</p> <p>(事業内容) 沢波川のホタルや四季折々の自然を楽しめるよう環境整備、ウォーキングコースを整備して健康づくりの拠点とするもの。</p> <p>将来的には、他自治会や西岐波校区とも連携して、一体的に進めていく。</p>
(2)地域住民に地域のお宝を広める取り組み	
<p>①地域のお宝を広める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のお宝の情報をまとめ、地域などに発表していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の授業の中で史跡めぐりを実施。(郷土史研究会)</li> <li>・毎月1回 定例活動を実施。(郷土史研究会)</li> </ul>
(3)住民でもできる自然環境保全の活動	
<p>①自然環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、校区内の清掃活動を推進します。</li> <li>・随時、校区内の環境美化活動を推進します。</li> <li>・霜降山の登山口が校区内にあるので、以前のように、周辺校区が参加し、登山道の整備、登山、参加者相互の親睦を深めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の除草作業を実施。(環境衛生連合会川上支部)</li> <li>・東片倉ホタルまつりの開催。</li> <li>・花壇の整備。</li> <li>・初日の出を見る会の開催。</li> <li>・霜降山登山の開催。</li> <li>・自治会単位の道普請を実施。</li> </ul>

## 5 元気で活力あふれる地域づくり

計画項目等	取組事例
(1)自治会、校区行事などの地域活動に関わる人材の発掘・育成方法	
<p>①人材の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区行事に参加して、プログラムの企画・立案する喜びを体感することで、行事スタッフとして若い人にも活躍の場を広げ、育成していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年の大運動会、夏まつり、防災訓練には、中学生ボランティアが参加している。</li> <li>・川子連主催のキャンプには、中学生ボランティア(ジュニアリーダー)が参加している。</li> </ul>
(2)若い人も地域行事に参加しやすい仕組み	
<p>①参加しやすい仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の企画段階から若い人に参画してもらえよう声掛けをしていきます。</li> <li>・行事に招待するなどして、隣接の校区との交流も図っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区文化祭の開催。</li> <li>・校区文化祭の舞台発表に子ども会からも参加している。</li> </ul>
<p>②行事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもにとって魅力のあるイベントを行っていきます。</li> <li>・学童期を過ぎた子どもたちでも楽しめるイベントを企画し、若い世代でも地域行事に参加できる仕組みを作ります。(例:ダンス、バンドの披露など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんど焼きの行事では、七草がゆやグランドゴルフ、餅つきを実施。 (文化振興会・婦人部・子ども委員会)</li> </ul>
(3)地域行事などの住民への周知と他地域へのアピール方法	
<p>①住民への周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区だより、班回覧などによりお知らせします。</li> <li>・地域行事当日、広報車によりPR活動します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月 川上だよりの発行。</li> <li>・イベント当日、広報車によるPRを実施。</li> </ul>
<p>②他地域へのアピール方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の終了後に宇部日報等の記事で多くの方の目に留まるようにします。</li> <li>・福祉施設や企業と連携協力し、イベントを企画します。</li> </ul>	



「文化祭」



「夏祭り」

